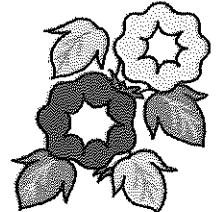


最近は登校する時から気温が高くて、子どもたちは学校に着いた時には顔が真っ赤で汗だくです。今年は例年以上に気温が高く蒸し暑いので、登校した時から脱水状態や熱中症になっていないか心配です。お家の方には健康観察をしてから送り出してください。安心できます。朝のお忙し時ですがよろしくお願いします。夏休みまであと少しだす。暑さに負けないよう元気にすごしましょう。



## 熱中症予防 ポイント

### 対策

★十分な睡眠



★バランスよく  
食べる



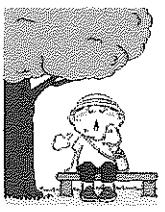
★帽子をかぶる



★保冷材などで  
冷やす



★木陰などで休けい

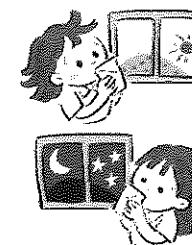


### 給水ポイント

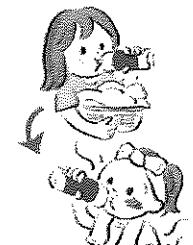
○のどが渴く前に飲む



●起きた時・寝る前に飲む



○お風呂の前後に飲む



こまめに  
水分補給を

# 数字で見る熱中症対策

**97,578人**

2024年5月～9月の全国における、  
熱中症で救急搬送された人の数(※)

その前の年と比べると、なんと6,000人以上増えました。うち軽症が65.3%、入院が必要な中等症が32.0%、長期入院が必要な重症が2.2%、死亡が0.1%でした。3～4人に1人は入院が必要な状態で搬送されていることがわかります。

**35度以上**

猛暑日の基準となる  
最高気温

テレビから「猛暑日」と聞こえたらその日の最高気温は35度以上の厳しい暑さになるということ。対策は万全に。

**~2%**

「のどが渴いた」と感じたときに  
体内から失われている水分量  
(体重に占める割合)

軽い脱水では自覚症状がなく、のどが渴いたときは既に予想以上に水分が失われています。のどが渴く前にこまめに水分補給をしましょう。

**5時・17時**

熱中症警戒アラートの  
発表のタイミング

熱中症警戒アラートは熱中症の危険が極めて高い場合、環境省から地域ごとに発表されます。アラートが出たら外での運動は原則、中止・延期が推奨されます。外出もできるだけ控えましょう。

### おうちの方へ

・健康診断がすべて終わりました。検診結果で医療機関を受診する必要がある人や、検診を欠席し未受検のままになっている人は、できるだけ早く受診をお願いします。

・今年の夏休みは今よりもさらに暑さが増し「酷暑」になることが予測されます。暑くても子どもたちは、外で遊ぶかもしれません(35°C以上の時は室内で過ごしてほしいですが)夏休みを安全に過ごせるように、熱中症予防についてお子さんとお話ししていただければと思います。  
よろしくお願ひします。

